



オプションの「AntennaHouse PDF Driver」(仮想プリンタドライバ)を組み込むことにより、本製品から直接WordやExcelなどのアプリケーションを起動して、プリントアウトと同等の再現性でPDFを作成可能となりました(WindowsXP/2000のみ)。「MS-Word 2004 for Macintosh」「MS-Excel 2004 for Macintosh」「MS-Works V7(文書/表/DB)」の変換に対応しました。機能限定の「パーソナル」版では、ワープロ専用機1種類と、Wordや一太郎、Excelなど複数のワープロ・表計算形式とを組み合わせることで変換できるようになりました。

## 新機能の詳細

### 《新機能1》 PDFからワープロ文書への変換機能

新開発の解析エンジンにより、PDF文書内からレイアウトや文字飾り、表などの情報を取り出し、変換先のワープロ・表計算形式に移すことができます。**注1**

**注1.**PDF内のデータによっては、元イメージを変換先に再現できない場合があります。また画像を元に作成したPDFやフォントが埋め込みされたPDFなど、内部に文字データを含まないPDFでは、変換先のワープロに文字情報が渡りません。

### 《新機能2》 ワープロや表計算文書のレイアウトを画像形式に保存する機能

元文書のレイアウトをそのままBMPやJPEGなどの画像形式に変換し保存することが可能になりました。**注2**

変換先に指定可能な画像形式は以下の通りです。  
BMP/ EMF/ JPEG/ TIFF/ PNG/ GIF/ PICT/ WMF

**注2.**上記はいずれも画像形式への書き出しのみ対応します。画像形式への変換は「リッチ・テキスト・コンバータ2005 パーソナル」では使用できません。

### 《新機能3》 PowerPointやQuarkXPressなどのテキスト部分を変換する機能

プレゼンテーションデータや組版ソフト、CADのデータなど、ワープロ文書とは異なる形式のファイルからテキスト部分を抜き出して変換先に移すことができます。**注3**

変換元に指定可能な形式は以下の通りです。

- MS-PowerPoint 97/2000/2002/2003
- QuarkXPress 3.3/4
- AutoCAD R13/R14/2000/2002(DXF/DWG)
- Adobe PageMaker 6.0/6.5
- WordPerfect 7/8/9
- Slide Show 7/8/9/
- IGES
- XML

**注3.**上記は、いずれも読み込みのみに対応します。「リッチ・テキスト・コンバータ2005 パーソナル」ではPowerPoint以外の形式には対応できません。

## 《新機能4》 パーソナルでは変換先に複数形式を指定可能に

「パーソナル」版は、従来「リッチ・テキスト・コンバータ」の機種限定版という位置づけで、選択可能な機種をひと組に限定する仕様でしたが、本バージョンでは、選択できる組み合わせの自由度をアップし、かつ価格は据え置きとすることで、コストパフォーマンスを大幅に向上させました。なお、この仕様変更により、従来上位版として位置づけていた「フォーカス」をラインナップから廃止いたしました。

### ● 旧バージョンの仕様

インストール時に、RUPOとWord、Wordと一太郎など2種類のワープロを選択して、選択したワープロ間で双方向に変換が可能となります。一度選択して実行した変換の組み合わせは、変更ができません。

### ● リッチ・テキスト・コンバータ2005 パーソナルの仕様

ワープロ専用機を1種類選択すれば、それ以外のWindows/DOS/Macintoshのワープロ・表計算ソフトとの組み合わせは自由自在になります。

例えば、RUPOからWordや一太郎、Excelなど複数の変換先を指定した変換が可能になります。一度選択して変換を実行したワープロ専用機は、以後それ以外のワープロ専用機に変更はできません。また、ワープロ専用機同士で組み合わせることはできません。

## 製品ラインナップの説明

「リッチ・テキスト・コンバータ 2005 for Windows」(税込価格 ¥44,100)

ワープロ専用機、Windows/DOS・Macintoshで動作するワープロ・表計算ソフト、N5200、PDF、画像形式など各種データの変換に対応した最上位版です。

「リッチ・テキスト・コンバータ 2005 パーソナル for Windows」(税込価格 ¥15,750)

ワープロ専用機のカテゴリを1つ選択して、他のWindows/DOS/Macintoshのワープロ・表計算形式と自由に組み合わせる変換が可能な機能限定版です。例えば、今までにRUPOで作成した文書データを、Wordや一太郎などパソコン上のワープロソフトで再利用したい場合や、一太郎の文書データをWordに移して編集したいというような場合にご利用頂けます。選択できるワープロ専用機は1カテゴリのみでWindows/DOS/Macintoshのワープロ・表計算ソフトとは自由に組み合わせることが可能です。

## バージョンアップサービスなど

2004年10月1日～2004年12月末の期間内に旧製品「リッチ・テキスト・コンバータ 2004(同パーソナル)」を新規にご購入の方は、「リッチ・テキスト・コンバータ2005(同パーソナル)」へ無償バージョンアップします。また、期間内に「リッチ・テキスト・コンバータ2004 フォーカス」をご購入の方には「リッチ・テキスト・コンバータ2005 パーソナル」へ無償バージョンアップします(いずれもユーザ登録が必要)。それ以前に旧製品をお求めでユーザ登録をして頂いている方には有償バージョンアップのご案内をお送りいたします。

## サイトライセンス

リッチ・テキスト・コンバータ2005(または「パーソナル」)を、一括して5本以上お求めの場合は、低価格で購入できるサイトライセンス販売を用意しています。

## 動作環境

必要メモリ/HDD容量:	32MB以上 / 120MB以上
使用可能な機種:	インテルX86系CPUを搭載した以下のパソコン(各OSの動作保証機種) NEC製PC98-NXシリーズ、PC9821シリーズ SONY製VAIOシリーズ他、IBM PC互換機 富士通製FMVシリーズ
対応OS:	Windows XP Professional/HomeEdition Windows 2000 Professional Windows Me/98SE/98/95 Windows NT4.0 Workstation
ドライブ装置:	ワープロ専用機及びMacintoshディスクの変換には、パソコン本体内蔵のFDドライブ(FDD)が1基必要です。この場合、IBM PC互換機のFDDではAドライブとして扱われる標準内蔵1台目のFDDのみ動作を保証します。また、このほかに、Windows XP/2000/Me/98で使用される場合、USB対応の機種では、弊社で動作保証するUSB接続FDD を接続して使用することもできます。その他の外付けFDDは原則的に使用できません。  IBM PC互換機にはワープロ専用機FDが読めない等の制限が生じる場合がありますので、事前に弊社へお問い合わせいただくことをお勧めしています。 スーパーディスクドライブ・HiFD等のフロッピーディスク互換ドライブ、弊社で動作保証する以外の外付けFDD(USB接続/PCカード接続のドライブを含む)/5インチFDD/リポートPC/FMV-Towns等では、コンバータをご使用いただけません。  弊社で動作保証するUSB接続FDDの詳細につきましては、弊社ホームページまたはパンフレットでご案内しています。

## お問い合わせ先

広告 / 広報 / 製品評価版についてのお問い合わせ  
 宣伝広告担当: 加藤 (E-mail: [kato@antenna.co.jp](mailto:kato@antenna.co.jp))  
 TEL.0265-76-9300 FAX.0265-78-1668

読者 / ユーザ様からのお問い合わせ  
 TEL: 03-3234-6321  
 FAX: 03-5226-9116  
 E-mail: [sales@antenna.co.jp](mailto:sales@antenna.co.jp)  
 URL: <http://www.antenna.co.jp/>

本製品につきましては、下記の弊社ホームページでもご案内中です。

<http://www.antenna.co.jp/RTC/Rtctop.htm>